



2023年5月31日

各 位

会 社 名 ジューテックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 植木 啓之
(コード:3157 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 経営企画部長 畠山 暁
(TEL:03-4582-3380)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2024年3月期から2026年3月期までの3カ年の中期経営計画を策定いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

(添付資料)

「中期経営計画 2024年3月期-2026年3月期」

以 上



中期経営計画 2024年3月期-2026年3月期

次代を見据えて

ジューテックホールディングス株式会社

事業環境

新型コロナウイルスの影響も落ち着き景気回復の動きが活性化する一方で、世界的な地政学的リスクやインフレリスクの高まり等から、事業環境の不確実性は継続する状況にある。また、各国は考える様々な金融や経済対策を打ち出してきており、今後の動向を十分に注視する必要がある。

機会要因

- ・リノベーション需要増加
- ・リフォーム需要増加
- ・環境配慮商品普及
- ・認証材の利用推進
- ・国産材の利用推進
- ・ネット流通の進化
- ・シニアマーケットの拡大

リスク要因

- ・高齢化
- ・インフレリスク
- ・人口減少
- ・中小工務店等の後継者問題
- ・競争激化（異業種参入等）
- ・物流担い手不足
- ・施工現場人材不足

中期経営計画テーマ

企業変革力の向上

著しい事業環境変化に対応したダイナミック・ケイパビリティ（企業変革力）が求められている

1. 事業基盤の強化

- ◆ 人材マネジメント強化
- ◆ ガバナンス最適化
- ◆ 財務体質強化

2. ビジネスフレームワークの進化

- ◆ DXの推進
- ◆ 営業スタイルの多様化
- ◆ サプライチェーンネットワークの最適化

3. 事業ポートフォリオの最適化

- ◆ 成長分野への投資強化
- ◆ 地域別戦略の最適化
- ◆ 新事業領域への挑戦

基本戦略

1. 事業基盤の強化

変化する事業環境に柔軟に対応する為、人材力、ガバナンス体制及び財務体質の強化を図る。

地政学リスク

急激な金利変動

災害の激甚化

パンデミック

多様化する事業継続リスク

人材マネジメントの強化

- 若手・女性活躍の仕組み作り
- シニア人材の活用
- 研修・資格制度の見直し

ガバナンス体制の強化

- 内部統制の最適化
- 権限移譲の推進
- 権限と責任の明確化

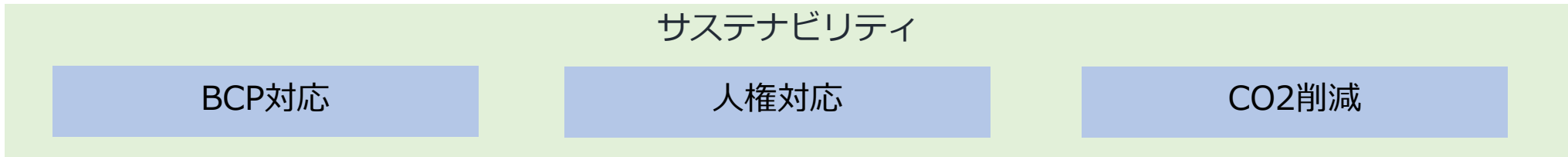
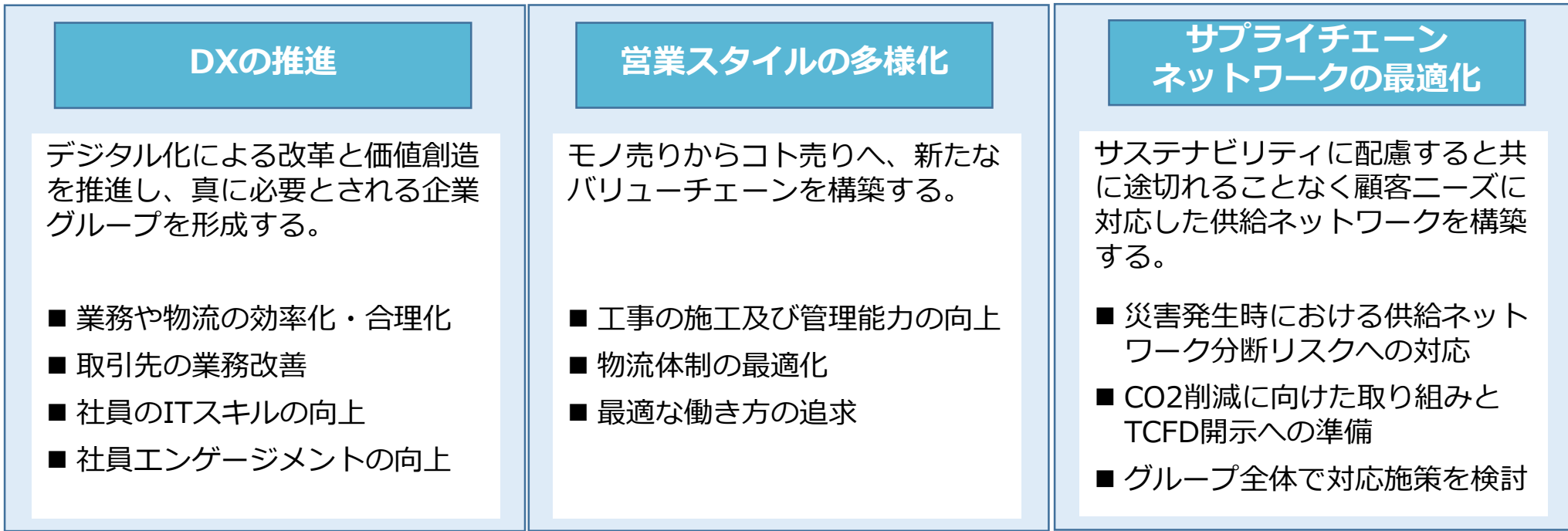
財務体質の強化

- 運転資本効率の向上
- B/S、C/F経営への意識向上
- グループ資金効率の向上

基本戦略

2. ビジネスフレームワークの進化

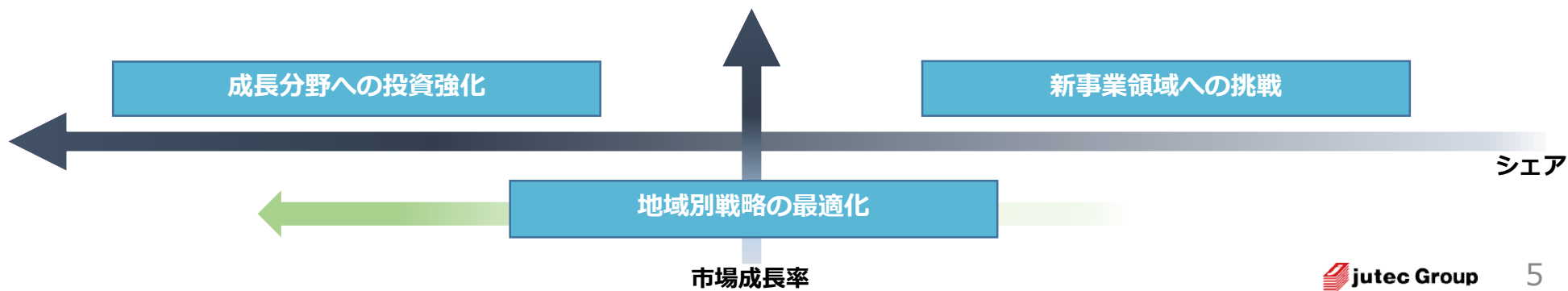
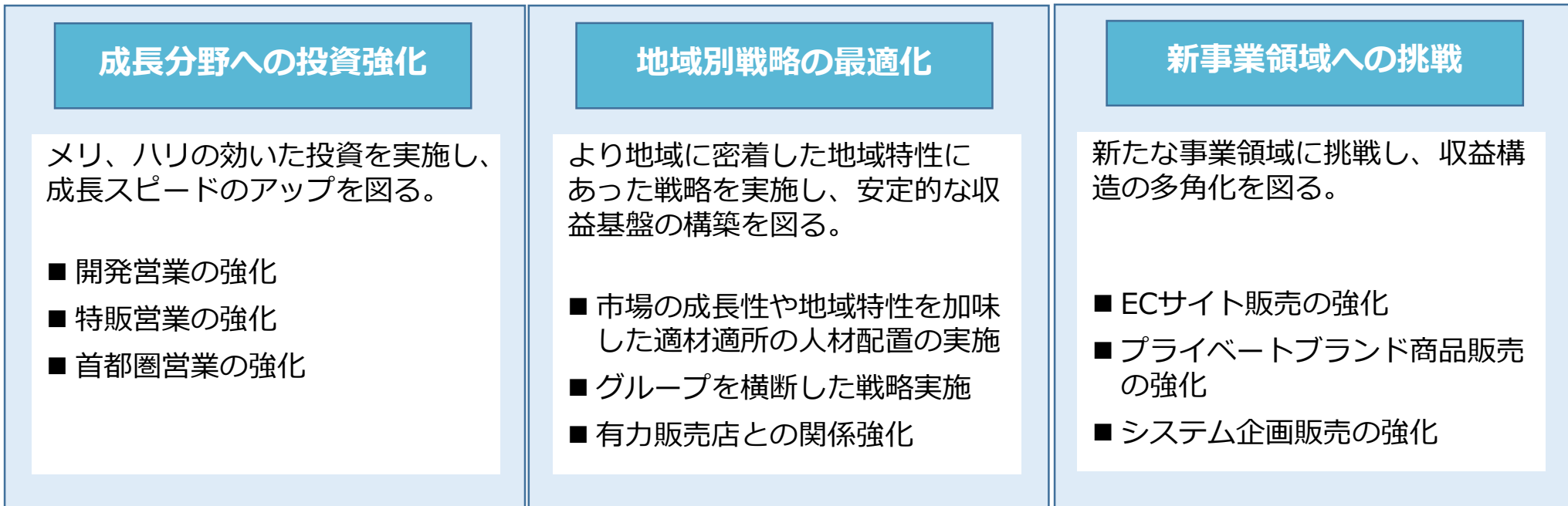
多様化する社会・取引先・社員の要求に答え続け、新たな企業価値を創造し続ける。



基本戦略

3. 事業ポートフォリオの最適化

成長分野への積極投資を行うと共に、新たな事業領域に挑戦し、収益構造の多角化を図る。



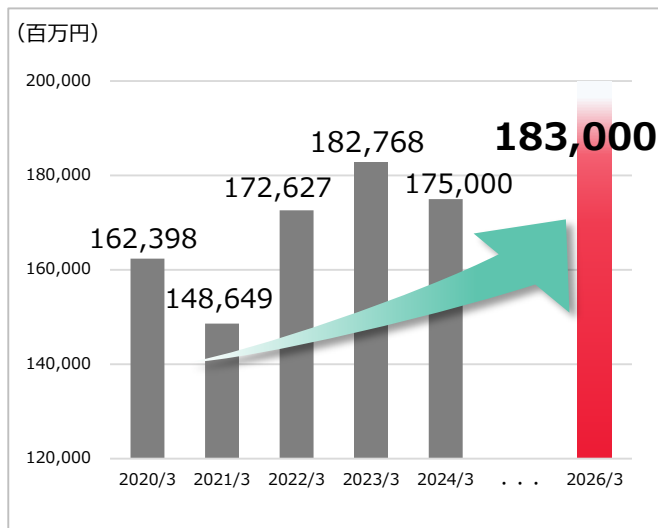
2026年3月期のありたい姿

(百万円)

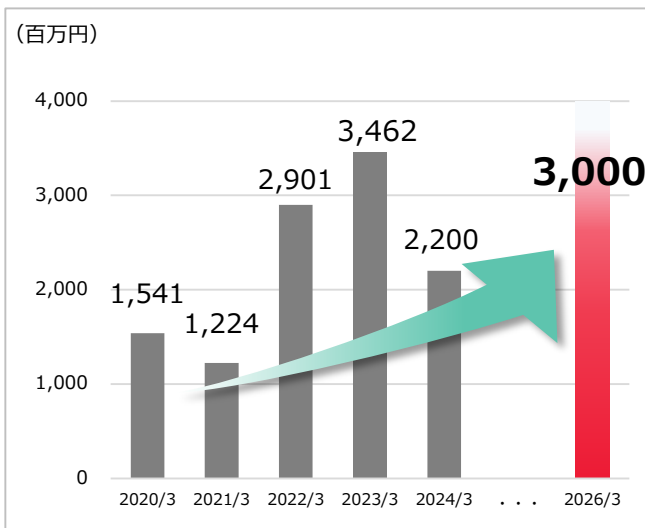
売上高	183,000
営業利益	3,000
営業利益率	1.6%
当期純利益	2,700
R O E	15.0%

投下資本利益率（ROIC）を意識した経営を行い、
更なる企業価値の向上に努めて参ります。

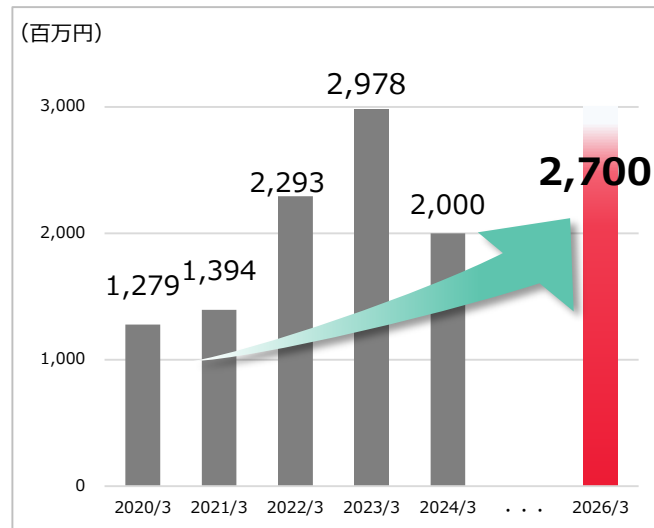
売上高



営業利益



当期純利益





ご注意

本資料に記載されている将来に関する目標及び業績につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確認に基づいておりますが、今後の経済情勢、事業運営における様々な要因により大きく異なる可能性があります。